

令和元年度 農高・農大就農促進対策事業（農高就農促進対策助成）

事業主体名 鹿児島県立山川高等学校

1 目的

本校園芸工学・農業経済科の教科学習においては、これまでも地域の特性を活かしたマメ類の栽培、フラワーデザインへの取組、販売会を通して、農業に関する学習内容の専門性を高めたり、学校及び生産物のPR等に努めてきている。

本事業の実施により、生徒が視察研修による先進農家等に関する学習や体験学習で豆腐作りやフラワーアレンジメントの指導等の実践を行うことで、生徒自身が目的意識を持ち、さらに学習内容の充実を図る。

2 実施状況

(1) 視察研修の実施

先進地視察研修では、鹿児島県立農業大学校のプロジェクト発表、意見発表を見学した。農場先進地訪問として、黒川みかん園での視察研修を行った。連棟硬プラハウス内では、収穫時期を迎えた不知火が植えられており、栽培管理、収穫、調整、出荷について、詳しく学んだ。

参加生徒は、農業大学校への進学や農業関連産業への就職を希望しており、さらに意識が向上した。

(2) 営農の門出を励ます会の実施

本年度の卒業生のうち3名が鹿児島県立農業大学校へ進学、1名が農業団体への就職が決定した。今後の地域農業への貢献等を考え、これら4名の生徒を励ます会を実施した。

指宿市長を始め、農業関係機関からも励ましの言葉をいただき、生徒たちへの期待も深まった。

在校生についても、今後の進路を自覚する機会となった。

(3) 体験学習の指導

本校生徒が、小・中学生に対して豆腐作りやフラワーアレンジメント作成を指導した。

通常は授業を受ける方であるが、先生役として教えることで、日頃の学習で修得した技術の確認と、実施後の学習に対する意識の向上もみられた。



3 今後の課題、取り組み

今年度の卒業生は、一部ではあるが農業大学校への進学や農業関連産業への就職が決定した。今後は、各科目においては、これまで以上に農業経営を意識した学習内容の検討を行ったり、視察研修では事前指導を十分に行うなど、生徒の学習に必要な情報収集や効果的な指導を行い、理解を深めていきたいと考える。